

砂防学会関西支部オープンゼミが那智勝浦町で開催 日頃の研究成果を発表しました！

大規模土砂災害対策技術センター

関西地区の砂防に携わる技術者、研究者、実務者が一堂に会して研究発表や意見交換、討論を行う場である砂防学会関西支部オープンゼミが和歌山県那智勝浦町にて開催されました。

オープンゼミでは、大規模土砂災害対策技術センターでの調査研究について発表するとともに、参加者の皆様から様々なご意見を頂くことが出来ました。また午後からの現地調査では那智川流域での観測についてご紹介いたしました。

大規模土砂災害対策技術センターでは、今後も調査研究の成果について積極的に発信していきます。

主催 砂防学会関西支部
後援 地盤工学会関西支部
和歌山地域地盤研究会

日時：平成30年7月1日（日） 8時30分～14時

場所：那智勝浦町体育文化会館
和歌山県土砂災害啓発センター

参加者：40名

京都大学、立命館大学、和歌山大学、大規模土砂災害対策技術センター、和歌山県土砂災害啓発センター、民間建設コンサルタント

■ 現地見学に参加した皆さんの声 ■

○データ回収はどのようにしているか？
→現状は機器のメンテナンスと合わせて回収にきている。今後、オンラインで回収できるようにしたい。

○上流の崩壊はどうなっているか？
→平成29年台風21号後の調査では、崩壊地が残存している様子が見られた。



オープンゼミ開会の支部長挨拶 京都大学 藤田教授



技術センターでの研究内容の発表 国総研 木下主任研究官



「電源レス映像監視システム」の説明 啓発センター2階



崩壊現場現地調査 金山谷川

【問い合わせ先】国土交通省 近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター
〒649-5302 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6
（和歌山県土砂災害啓発センター2F）TEL 0735-55-0820

